

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 26 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 渋谷区千駄ヶ谷 5-8-10
 氏 名 フジタビルメンテナンス株式会社
 代表取締役 公文 正純
 電話番号 03-5361-3861

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジタビルメンテナンス株式会社
事業場の所在地	渋谷区千駄ヶ谷 5-8-10 巖ビル
計画期間	2022 年 9 月 15 日 ～ 2023 年 7 月 28 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業、92 その他の事業サービス業（ビルメンテナンス業）
②事業の規模	本社売上高 50 億円 （全社 125 億円）
③従業員数	160 名（全社 370 名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事作業所、建物管理事業所→産業廃棄物処理業者に運搬・処理を委託 原則的に指定業者（優良認定業者）で電子契約、電子マニフェストで運用する。



(日本工業規格 A 列 4 番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

フジビルメンテナンス株式会社東日本工事事務所管理責任者：統括部長 牧野 徹



建設廃棄物処理総括責任者：統括部長 牧野 徹



環境実行管理者：副統括部長 鈴木 哲也
建設副産物担当者



建築部管理者：副統括部長 須田 健一



各作業所の建設廃棄物管理責任者：次長 加藤 泰一

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2022年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ
排出量	3,219 t	7.4 t

（これまでに実施した取組）
簡易梱包の実施、搬入前加工の実施、廃棄物の分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ
排出量	3,300 t	8 t

（今後実施する予定の取組）
簡易梱包の実施、搬入前加工の実施、廃棄物の分別の徹底

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
解体工事の際、幸いに駐車場スペースが有り、分別のためのコンテナを複数設置し分別するようにしている。電子マニフェスト-100%。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
上記をさらに徹底する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	全処理委託量	3,219 t	176 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,219 t	176 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・保管場所を指定 特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）		
	・保管場所に分別ボックス ・保管場所掲示を設置 （廃プラ、紙くず、金属くず、廃石膏ボード等）		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスコンガラ
	全処理委託量	10.5 t	7.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10.5 t	7.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・建設廃棄物処理委託契約書の締結を支店で確認。 電子マニフェスト-100%。 ・混合廃棄物の削減目標を施工検討会議で決定し、分別収集・搬出を 管理。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

旧日立金属産銻茨城工場社宅解体工事 産業廃棄物集計

集計単位	廃プラ	木くず	量	繊維くず	廃石膏ボード	コンクリートガラ	ガラス・陶磁器くずコン	アスコンガラ	混廃(管理型)	ガラス・陶磁器くずコン	がれき瓦(不燃物類)	蛍光管	合計
m ³	17.3	320		0	13	2,175		5	76	14	15	0	2,635
t	6.1	176.0		1.6	13.0	3,219.0		7.4	19.8	14.0	22.2	0.0	3479.215
kg	5,320	74,360		15,540	0	0		0	0	0	0	4	95,254
リットル	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
個・台	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
換算係数	0.35	0.55		0.12	1.00	1.48	1.00	1.48	0.26	1.00	1.48	0.15	